

主の昇天 2014.6.1

## 弟子たちを派遣する

マタイ 28章 16-20節

28:16 さて、十一人の弟子たちはガリラヤに行き、イエスが指示しておかれた山に登った。

28:17 そして、イエスに会い、ひれ伏した。しかし、疑う者もいた。

28:18 イエスは、近寄って来て言われた。「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。

28:19 だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、

28:20 あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

-----  
28:10 イエスは言われた。「恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる。」

きょうのテキストの少し前になりますが、蘇りのイエスがマリアに告げたこの言葉を信じて、弟子たちはガリラヤに行き、山へ登りました。

28:16 さて、十一人の弟子たちはガリラヤに行き、イエスが指示しておかれた山に登った。弟子たちは山へ迷うことなく登ります。イエスの指示と福音書は記しますが、ガリラヤに行けというだけで山とは書いてありません。不思議なことです。しかし、彼らは山に行きそこで復活されたイエスと出会い、伏し拝みます。さて、私たちは、どこでイエスに出会い、伏し拝むのでしょうか。会堂でしょうか。それとも自宅に設けた十字架の前でしょうか。きっと、それぞれにイエスと出会い伏し拝む場所があるとおもいます。しかし、イエスにはどこでも出会えます。私たちは、イエスを意識し、心を静かに祈るときイエスと出会うことができます。ということは、イエスを見て伏し拝んだ弟子たちの姿は私たちの姿に重なりあうのです。

28:19-20 だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にきなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。

このマタイ福音書の最後の箇所を「大宣教命令」と呼ぶ人たちもいます。このイエスの命令は私たち一人ひとりに与えられました。私たちは、それぞれの場でイエスと出会い、祈り、そして、福音宣教に出かけて行きます。礼拝の中の派遣の祝福は、私たち一人ひとりを宣教へと派遣するためのものです。祈りとみことば、そして、パンとワインを通していただいた恵みを糧として派遣されて行きます。イエスは、「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」と言われます。私たちは一人ではありません。いつもイエスが側にいてくださいます。この約束は私たちに勇気と信頼を与えます。マタイ福音書の最後に記されたイエスの宣教命令を、きょうの主の昇天の祝日にいただいたみことばとして、それぞれにおもいをめぐらせる一日としましょう。